

事業名 木和田川砂防環境整備事業

石張り(兜)堰堤の保存と周辺整備計画の立案をするために、行政と地域有志の会「横添ふるさと会」からなる「木和田川砂防学習ゾーンモデル事業計画策定研究会」を設立し、地元岡部町の「つたの細道公園整備事業」と一体となって、土砂災害の防止機能を高めるとともに、自然環境を保全・育成するための整備を行い、地域の歴史文化の保存・伝承に大きな成果を挙げることできた利用者等の評価の高い事業

受賞機関 静岡県島田土木事務所
 事業実施期間 平成7年4月1日～平成11年3月25日
 事業費 428百万円



つたの細道公園利用状況

事業等の特徴

明治時代に建設された堰堤が、ほぼ昔のままの形で残され、周辺に溶け込み景観的な美しさを創出している。地元の行政と地域有志の会「横添ふるさと会」により砂防設備周辺の維持管理が行われており、利用者が年中絶えなく、歴史的砂防構造物の美化、維持管理を通じ地域の歴史文化の保存・伝承に効果をあげている。

事業の概要と利用者等の評価

本事業は、訪れる人々に憩いと安らぎの場を提供するとともに、砂防事業に関する啓発を図るため、木和田川周辺を「砂防学習ゾーン」として整備することを目的とした事業である。

木和田川の歴史的価値を有する8基の石張り(兜)堰堤の保存と周辺整備のため、行政(静岡県・岡部町)と地域有志の会「横添ふるさと会」からなる「モデル事業計画策定研究会」を設立し、計画を策定した。

計画は、堰堤の保存と利用を図りつつ、新たな砂防設備及び、その周辺整備を施すことにより、土砂災害の防止機能を高めるとともに、地元岡部町により並行して進められた「つたの細道公園整備事業」と一体となり、自然環境を保全・育成するための整備を行うものである。

本事業は、平成7年から平成11年にかけて行われ

たが、事業完了後も地元有志の会「横添ふるさと会」により、木和田川の砂防施設を始め周辺の美化・清掃等、施設の維持管理が行われている。また、同会では、「つたの細道みどりまつり」の開催、木和田川へのホタルの幼虫放流などを行っている。

審査委員会委員の意見等

- ・砂防施設の整備と一体となった石張り堰堤の整備保存を、土砂災害防止機能向上と景観維持・改善に結びつけるとの明確な目的意識のもとに、ハードの整備のみならずイベント開催、ホタル幼虫放流等のソフト事業を地域有志を巻き込んで総合的に実施し、来訪者増大をもたらしたことは、事業の総合性、視野の広さ、効果といった点から評価される。
- ・歴史的な堰堤を保存し、地元有志の会による維持が行われ、また、来訪者が増えていることは評価できる。
- ・歴史遺産の活用を含んだ面白い事例である。産業遺産、歴史遺産としての土木構造物の存在をアピールすることが今後重要であり、また、そのための土木史基礎的調査が進みつつあるなかで、このような事例の拡大が望まれる。
- ・利用者が増えれば、自ずから人の目により磨かれることにつながる。共働者と利用者が増えれば、と近づいて欲しいと感じる。